

株主のみなさまへ

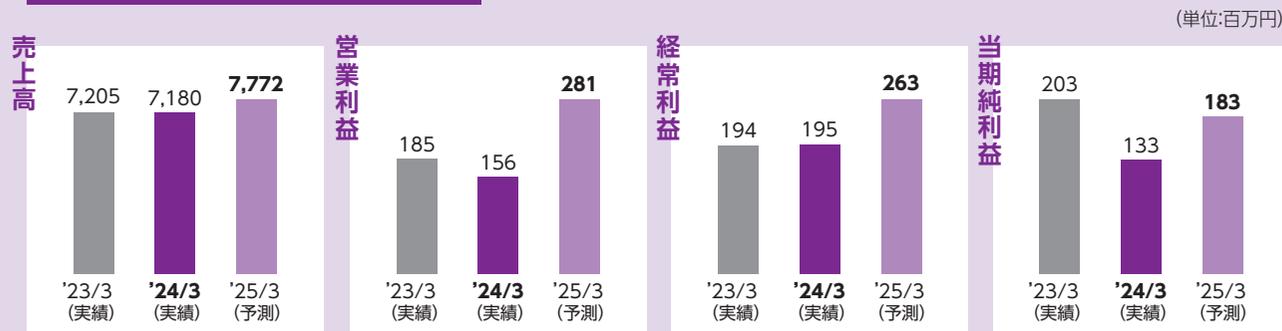
BUSINESS REPORT

第54期 株主通信 | 2023.4.1 ▶ 2024.3.31

特集

各事業分野の状況
と
2030年へむけて

第54期 連結財務ハイライト



ごあいさつ

新しい取り組みがカタチになり始めています。
業績拡大に向けて着実に成長していきます。

2024年3月期の業績は、連結売上高が前期比で微減となりました。期初から半導体不足による顧客の在庫調整が長引いたため、ASA COLOR LEDの受注が減少しましたが、昨年末から受注の回復傾向が鮮明になっています。医療・ライフサイエンス事業並びに機能事業の卓球ラケット用ラバーは年間通じて受注が高水準で継続し、当期も過去最高の売上高を更新しました。利益面は前期比で減益となりました。特に特別損失として偶発損失引当金繰入額を計上しました。これは、風力発電に関する事業の一つとして取り組んでいる風車のブレードを保護するカバーの開発において、実機に取り付けたカバーの劣化に対する再施工に関する費用になります。また、光学事業の再構築と更なる挑戦を図るため設備の減損損失も計上しました。これらは新しい事業や製品開発に向けた取り組みの側面として発生したもので、今後も新製品・開

発製品の市場供給をさらに加速させていきます。

2025年3月期は、各事業とも新型コロナウィルスに関係する環境から脱し、連結売上高は過去最高を更新する見込みです。独自の技術を活かした製品が少しずつですが、カタチとしてご提供できるようになってきています。「魅力を高めて新たな価値を提供しよう」を経営方針として、今後も当社独自の世の中にはない新しい価値の提供に向けた活動に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

渡邊 陽一郎



各事業分野の状況と2030年へむけて

2023年4月より第14次三カ年中期経営計画がスタートしました。

2030年に目指す姿へ向かって各事業で確実に歩みを進めながら、新たな取り組みも進めてまいります。

光学事業



「感性・共感」をキーワードに様々な市場に対し技術開発と提案を進め、高付加価値製品で市場に貢献します。

医療・ライフサイエンス事業



診断・治療、理化学機器、介護・予防など幅広い分野に向けて技術を磨き、世界の医療現場と患者のQOL向上に貢献します。

機能事業



「新たな柱を創る」をビジョンとし、将来のライフスタイルの実現に向けた弾性無限で人にやさしい感性価値を提供します。

通信事業



様々なアプリケーションを駆使して新しい社会価値への取り組みに参画し、スマート社会の発展に貢献します。

事業概要

事業構成比

売上高の推移

事業の実績

今後への取り組み

事業担当より

34.6%



(単位:百万円)

21.8%



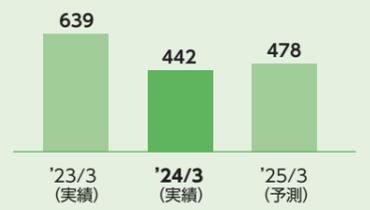
(単位:百万円)

37.4%



(単位:百万円)

6.2%



(単位:百万円)

上期は半導体不足による顧客の在庫調整が自動車内装照明に使用されるASA COLOR LEDの受注に影響しましたが、下期は在庫調整が終息し受注が回復傾向となりました。上期の受注影響が大きく響き通期では減収となりました。

あらかじめ注射器に薬液が充填されているプレフィルドシリンジに使われるガスケットや、採血用・薬液混注用ゴム栓など診断・解析向け製品の受注が好調に推移し、過去最高の売上高を更新いたしました。

卓球ラケット用ラバーの受注が好調で過去最高売上高を更新し、事業全体の売上高を押し上げる結果となりました。自動車用スイッチ向け製品は受注回復が遅れたものの昨年末から増加し売上高に貢献しました。

RFIDタグ用ゴム製品は北米市場での受注が回復傾向であるものの前年同期比では減少傾向でした。また、コネクタ製品は顧客の在庫調整により大きく減少した影響を受け、通信事業では減収となりました。



1 自動車向け以外も

原点に戻って特長を見つめ直し、自動車向け以外でも「光を自由に扱える会社」だと知っていただく機会を増やす活動を進めます。



2 技術力の底上げ

技術力の底上げをすることで、今までよりも機能的な付加価値がある製品の開発に取り組めます。



1 一つひとつを着実に

1つの製品の立ち上げ期間が長期にわたりますが、精密な配合とものづくりが求められることから、一つひとつの案件を着実に進めます。



2 医療販社設立

年内に設立予定の医療販社では取り扱いできる商材を拡大するとともに、海外とも連携して事業の拡大に貢献していきます。



1 風車ビジネス

新しい風車ビジネスの骨格をしっかりと捉え、今後の発展に向けた準備を確実に進めてまいります。



2 F-TEM

F-TEMの良さを考察し直すことで特長をより明確にし、より総合的な提案ができるよう活動の幅を広げていきます。



1 やわらか保護カバーRFIDタグ

やわらか保護カバーRFIDタグは当社標準製品となるので、出てきた課題を解決しながらさらなる拡売を進めます。



2 より付加価値のある製品を

通信関連の製品やサービスを取り扱う企業との連携を深めながら、より付加価値のある製品を創造していきます。

ASA COLOR LEDをはじめとした主要製品は、市場から製品単体の販売ではなくモジュールや最終製品といった全体のコーディネートが求められています。コーディネートに必要な物事を見極める力や全体を進める行動力を高め期待に応えていきます。

第14次三カ年中期経営計画の目標である「第二の柱へ成長させる」に向かって堅実に取り組みます。医療販社では様々な商材を取り扱うだけでなく、そこで入手できる情報も活かしながら朝日ラバー全体の発展につなげたいです。

様々な市場向けの製品があるためテーマごとに活動を進めていますが、今まで取り組んできた積み重ねが良いカタチとなって膨らんでいます。新しい取り組みとして進めている風車やF-TEMは実績をあげるために協業先との取り組みを着実に進めます。

通信に関係する製品は使用用途が多岐にわたり、使用される業種も様々です。日々変化する市場に対して認知度を高める活動を継続し、顧客の多様なニーズに応える製品開発を進め、早く実績を上げられるよう取り組みます。

新任 取締役 事業担当
おおつき なおひみ
大槻 尚文



4事業を担当する取締役である私から、各事業のポイントや今後の見通しを簡単に解説します。

新任取締役の抱負

6月20日開催の第54回定時株主総会で、2名の新任取締役が選任されましたのでご紹介いたします。



取締役 事業担当 大槻 尚文

重責ではございますが、これまでの技術や海外での経験を活かしながら、スピード感を持って開発製品を上市し、事業の成長、発展に貢献できるよう努め、また企業ブランドを高めていく活動を推進、尽力してまいります。今後ともより一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役 管理担当 堀 信幸

新たな職務に就くにあたりまして、会社の成長に貢献できるよう精一杯努力してまいります。また、当社で働く従業員ひとり一人が成長、活躍し、「朝日ラバーに入社して良かった」と感じてもらえる会社にしていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いたします。

株式の状況 (2024年3月31日現在)

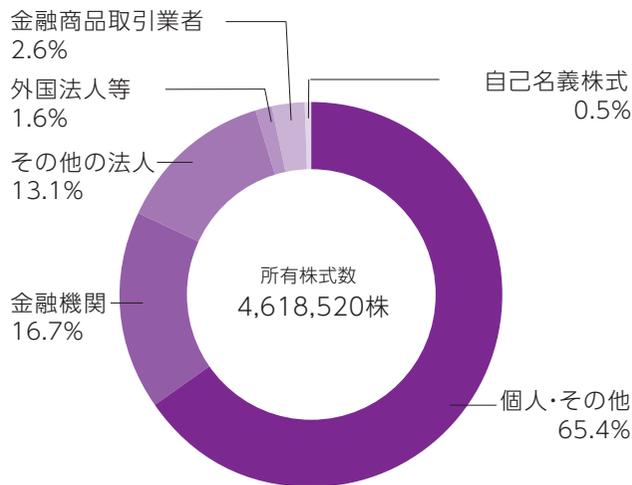
発行可能株式総数 11,500,000株
 発行済株式の総数 4,618,520株
 株主数 3,287名

大株主 (2024年3月31日現在)

株主名	(株) 持株数	(%) 持株比率
有限会社伊藤コーポレーション	477,500	10.4%
佐藤 尚美	228,700	5.0%
朝日ラバー従業員持株会	228,328	5.0%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	222,528	4.8%
朝日ラバー共栄持株会	210,400	4.6%
株式会社東邦銀行	207,400	4.5%
株式会社武蔵野銀行	196,500	4.3%
横山 林吉	140,260	3.1%
第一生命保険株式会社	78,000	1.7%
亀本 尚志	70,000	1.5%

※1 持株比率は自己株式(25,177株)を控除して計算しております。

所有者別株式の分布状況 (2024年3月31日現在)



会社概要 (2024年3月31日現在)

商 号 株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.)
<https://www.asahi-rubber.co.jp/>
 所 在 地 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
 設 立 1976年6月 (創業1970年5月)
 資 本 金 5億1,687万円
 証 券 コード 東証スタンダード市場 5162
 正 社 員 数 317名
 主 業 務 内 容 工業用ゴム製品の製造・販売
 主 業 務 所 本社:埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
 大阪営業所/名古屋営業所/福島工場/
 第二福島工場/白河工場/白河第二工場
 役 員 ※ 代表取締役社長 渡邊 陽一郎
 取締役 滝田 充
 取締役 大槻 尚文
 取締役 堀 信幸
 取締役(監査等委員) 田崎 益次
 取締役(監査等委員)(社外) 馬場 正治
 取締役(監査等委員)(社外) 筑紫 勝麿

※2024年6月20日現在

見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。
 Easy to read universal design
 fonts that are used.

